本部報告

闘争を通じて凡ては精算され　新らしい強い力は伸びて行く
ダラ幹を　ウルトラを　解党派を　上ケウ者を　血みどろの反抗闘争の
中から　新らしい勝利への基礎は凡てをはねのけて　強く正しく　もく
もくと伸びて行　歴史的使命の線上をまっしぐらに　歴史の迴轉は正し
く正確に　労働者の歯車によって　新らしい社会への　歩立に近づいて
行く　東金が創立大会をやってから一年自余　苦闘の中に　各組合員の
死守によって　第二回大会をあげる事に成功を　我々は過去の実践から
失敗を潔ぎよく正し　次の闘争への方針を立て　自信と熱と勇気と
努力を持って進まなければならない
東金本部の過去の闘争を左の三期に分ってお報告する事が出来る

一　組織時代　一九二九、十二―一九三〇、七
一　闘争時代　一九三〇、七―一九三〇、十一
一　確立時代　一九三〇、十二―一九三一、四

一　組織時代

三、一五　四、一大の弾圧後の左翼労働組合は　殆んど壊滅状態にあり　その中心指導者は　其の后の引続く検挙により殆んど無くなってしまった　工場内に分会を組織して居同志達の上には　反動階級の攻勢は向けられ　切くづしは　産業の合理化と並行して　攻勢に戦闘的組織に向けられた　労働者の要求を取り上げて　妥協と吸収をしりぞけ断然として闘ふ組織の再建　右翼中間にせまって　常に行く同志を　社会民主々義指導の毒手より　防衛する事は指導部を確立して　金属労働者の戦闘的な　全国的な組織の再建確立拡大強化は産業労働者の切望であり　当面の最大問題である　と同志が集り　一九二九年一二、五、断然戦闘的労働組合の確立を目ざして　東京金属労働者組合準備会を持ち　親密なる同志に敬すと同時に　垂ム所を月島軍需工場三ノ五に設け　機関の確立　闘争基金の蓄集　調査　組織に着手した
中心分子の不断の活動により　一九三〇　二、二三　大島製鋼所に分会民会式を開催する事になった　同時に川口町方面に　東金の旗を押し進めた　川口町は　鋳同盟　組合同盟のダラ幹共に民衆に荒らされて居る所だが　大島製鋼分会の開会式までには二つの分会の開会式にまでに成った　三、二、大高町牧鉄工所の兄弟八十名の　事業不振と言ふ名目による不当解雇に組織の為った東金は早速対策委員会を持って　機極的　意義に向った
其の直組織の確立　仲展と共に　四月二十八日　創立大会を持ち　事務所を　本所区緑町四ノ四に移し　直ちにメーデ参加の闘争で始めを　三月十日建築分会確立　六月二日永瀬工場の闘争　六月十日日計り首切りに対する闘争を通じて闘争時代に入った

闘争時代

七月一日東電建築金物部会の闘争を始めとしてストライキ時代に入った　百四十名が五十四日間断然闘争して勝利を獲得した　此の闘争の終る前八月四日大島製鋼の闘争が起き百五日間　全力を傾注して闘争した　闘争は三百名の首によって　家族動員　ピオニール　の出現等